

# ■170210「東京2020とその後の資源循環・資源管理を考える」 31の国と地域が集う 冬季アジア札幌大会視察報告

視察の目的①ボランティアの活躍  
②3R・資源管理  
③国際大会の視点



NHK  
放送より

崎田裕子 ジャーナリスト・環境カウンセラー  
NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長  
協力:トッパン・フォームズ(株)札幌大会オフィシャルスポンサー

2017 YUKO SAKITA



# ①ボランティアの活躍

## 8日間支えた4600人 スマイルサポーターズ

駅や会場で、折り鶴や  
手づくり応援旗を配布。

1年間に研修は3回。  
シニアやお母さん世代  
中心に参加！





## ②3R・資源管理－1

# 開会式は札幌ドーム

紙トレイにプラカップ  
購入飲食物持ち込み可

徹底した5分別だが  
終了後の管理は残念



入口で 厳重な  
金属 &  
食物チェック



## ②3R・資源管理ー2

# 競技会場は2分別 「資源と一般ごみ」

・12の競技会場はほぼ2分別  
名称・表示はそれぞれ。

資源ボックスにはびん・缶・ペット。  
ごみボックスには使い捨てプラ容器  
に割りばし・レジ袋・紙類など

札幌カーリング場



真駒内競技場  
ショートスケート



月寒体育館  
アイスホッケー



2017 YUKO SAKITA





### ③国際大会の視点 温かい無料スープの提供 授乳室・車いす席の確保

全ての会場で温かい無料スープの提供、授乳室の確保、基本表記の英語併記等、国際大会の遵守事項(と思われる内容)を実施。

ただし8日間のため、紙に印刷した簡易な対応が目立つ。







## 東京2020に向けて

- 1 ボランティア「スマイルサポーターズ」の参画で支えている。
  - ☛ 学生など若い世代に広げ、次世代の「市民力」強化につなげたい
- 2 札幌ドームの5分別ボックスは、資源の行方も丁寧に伝えている。
  - ☛ サポーターが最後まで分別をフォローできる体制づくりが必要
- 3 借用する競技会場でも、施設整備・販売物の発生抑制含め3Rを。
  - ☛ 使用後のリユース・リサイクルを考えた、看板や会場整備
  - ☛ レジ袋削減のためマイバッグ販売や、わかりやすい資源分別と表示
  - ☛ 「食べ物の容器包装」「飲料の容器」「食品ロス」と資源分別回収